

ふりがな 氏名	まつい ともひろ	都道府県	福島県	
	松井 智宏			
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船と翼の会ふくしま / 事務局次長</li> <li>・福島市立福島第三中学校 / 講師</li> </ul>			
関心・活動のSDGs	  			
私のESD活動	広い世界を知り、多様性の中で生きるために大切なことを考える機会づくり			
<b>活動の概要</b>				
①学校での活動				
<p>「青年海外協力隊」での活動や内閣府青年国際交流事業「世界青年の船」での経験をもとに、社会科や総合的な学習の時間の中で、異なる文化について紹介したり、異なる文化に出会ったときの対応について考えたりする機会を作ってきました。また、昨年は「東南アジア青年の船」地方プログラムの受け入れを行い、実際に外国の人とふれあう機会を作ることができました。その中で、「将来国際関係の仕事に就きたい」という夢を持つ子や、さらに深く知るために実際に海外での交流プログラムに参加する子が出てくるなど、世界に興味を持つ子が増えてきているように感じています。</p>				
②地域での活動				
<p>国際理解などについて参加者同士で学び合う「ふくしまグローバルセミナー」でセッションを担当したり、福島県国際交流協会が行っている国際理解出張講座で講師を務めたりしながら、地域の方とも多様性について考える機会を作っています。特にグローバルセミナーでは、10代から60代の幅広い年代の参加者と一緒に、異文化と出会ったときにどんなことが大切かを話し合うことができました。</p> <p>以上のように、職場である学校と地域で、広い視野から物事を考えられる人づくりを目指して活動しています。</p>				
<b>私が考える教育の未来像</b>				
<p>「教育が世界を変える」と考えています。子どもたちとの関わりの中で感じることは、子どもは素直であるということです。そして素直であるが故に親や教師が「こうだ」と言うと、その角度から物事を捉えることが多いです。それが偏った見方であったら多様性は受け入れにくくなってしまいます。しかし、逆にそこで多様な見方ができるようになれば、物事に対して寛容になれるでしょう。その多様な視点や寛容さが、世界平和の一助になるのではないかと考えています。グローバル社会といわれる今、世界に目を向け、多様に触れる場を作る教育の役割は非常に大きいです。教育現場に携わる人間として、より良い社会作りには貢献していきたいと思えます。</p>				
<b>私の強み、活かせる経験やスキル</b>				
<p>人の話を最後までしっかり聞いてから話すことができることが、私の強みです。ほぼ初対面の参加者同士が自分の本音を話すためには、どんなことを話しても聞いてもらえる、受け入れてもらえるという安心感が重要だと思います。その安心感の中で参加者がそれぞれの胸の内を話していくことで、多様な視点、新たな視点が出てきて、より学び多き場になっていきます。私は、話をよく聴き、受け止めた上で話すことが得意です。そのよさを活かして、安心感のあるより良い学び合いの場づくりに貢献していきたいです。</p>				